

箕面市スポーツ施設マネジメント計画 (改訂版)

策 定：平成 29 年（2017 年） 3 月

改訂版：令和 2 年（2020 年） 2 月

箕面市教育委員会

目 次

1	はじめに.....	1
2	市立スポーツ施設の現状.....	2
	(1)市立スポーツ施設の概要	
	(2)市立スポーツ施設の現状	
	(3)利用料金の変遷	
	(4)近隣類似施設の利用料金との比較	
3	市立スポーツ施設の課題と対応.....	4
4	計画の概要.....	5
	(1)計画の考え方	
	(2)検討の流れ	
5	必要経費の算出.....	6
	(1)修繕・更新項目の洗い出しと各項目を性質別に分類	
	(2)分類した性質ごとの適切な修繕・更新スパン	
	(3)必要な経費の算出	
	(4)体育館照明 LED 化による必要経費とその財源措置について	
6	改定料金の仮決定.....	12
	(1)アンケート調査の概要	
	(2)アンケート調査結果	
	(3)効果額の算定	
	(4)市投入額の試算	
	(5)1 人あたり改定額	
	(6)改定料金(案)の仮決定	
7	箕面市体育連盟との協議結果.....	19
	(1)利用料金の見直し	
	(2)更新年度の判断	
	(3)確認書の取り交わし	
8	改定料金と改定期期の決定.....	20
9	これまでの取組みと今後のスケジュール.....	22
10	おわりに.....	23
	【巻末資料】	24
	・修繕・更新項目一覧	

1 はじめに

本市のスポーツ施設は、昭和39年に設置された箕面市民野球場を皮切りに、第一テニスコート（昭和48年）、第二テニスコート、グラウンド（昭和54年）、第二市民プール（昭和55年）、武道館、第二総合運動場（昭和56年）、第一市民プール（昭和63年）、スカイアリーナ（平成8年）が順次整備され、今日まで市民のスポーツ活動拠点として重要な役割を果たしてきた。

しかしながら、最も新しいスカイアリーナでも整備後20年、最も古い野球場は半世紀が経過し、施設の老朽化が進むとともに設備の陳腐化などにより、市民がスポーツを楽しむための快適な環境を維持することに限界がきている。

そこで、市では、これらの老朽化した施設を再生し、利用者が気持ちよく安全にプレーできる環境を整えることで、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康増進と体力づくりを推進するため、既存の市立スポーツ施設の整備と改修について検討を重ねてきた。

本計画は、平成29年3月に、これらの検討をもとに、今後、施設利用の快適性・安全性を確保するため、施設の改修・修繕や用具・備品等の更新の時期等のルールについて、その検討プロセスとともに示すものとして策定した。

その後、本計画に基づき、平成29年度及び30年度の2カ年にわたり、既にメーカー標準の耐用年数を超えていた備品や設備の大規模更新を行った。

改訂版では、大規模更新の実績をもとに今後の備品や設備の整備改修にかかる必要な経費を置き換えるとともに、耐用年数の異なるパーツに整理できるものは「分解」、新たに継続して更新すべき項目として設定する必要があるものは「追加」、快適性や利便性等の観点からの性能等の見直しが必要なものは「グレード（性能等）の見直し」などの再整理を行った。

また、必要経費に対する財源確保策では、平成30年及び平成31年に料金改定を段階的に実施するとともに、令和2年2月に箕面市体育連盟（以下「体育連盟」という。）と減免見直しについて合意ができたため、今般「箕面市スポーツ施設マネジメント計画（改訂版）」としてとりまとめたものである。

2 市立スポーツ施設の現状

(1) 市立スポーツ施設の概要

本市には、第一総合運動場と第二総合運動場の2つの施設があり、施設の概要は以下のとおりである。

【市立スポーツ施設の概要】

名 称	所 在 地	竣 工（開 設） 年 月 日	概 要
第一総合運動場 市民体育館 (スカイアリーナ)	新稲2丁目14-45	平成8.3.15	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階・地下1階建 ・敷地面積 18,470 m ² ・建築面積 5,820 m ² ・延面積 7,230 m ²
第二総合運動場 市民体育館	外院1丁目2-3	昭和56.3.30	鉄筋コンクリート造2階建 ・敷地面積 4,100 m ² ・建築面積 3,500 m ² ・延面積 4,100 m ²
武道館	新稲3丁目12-1	昭和56.12.25	鉄筋コンクリート造2階建・地下1階 ・敷地面積 4,021 m ² ・建築面積 1,586 m ² ・延面積 2,279 m ²
市民野球場	桜2丁目1139	昭和39.8.20	・敷地面積 16,758 m ²
第一テニスコート	桜2丁目15	昭和48.4.1	・敷地面積 2,400 m ² ・コート(クレイ) 3面 ・板打 1面
第二テニスコート	外院1丁目47-1	昭和54.3.25	・敷地面積 6,800 m ² ・人工芝コート 7面 ・板打 1面
市民多目的グラウンド	外院1丁目47-1	昭和54.3.25	・敷地面積 14,000 m ²
市民プール(第一)	新稲4丁目18-14	昭和63.6.26	・50m×13m×1面 650 m ² ・子供用プール 214 m ² ・幼児用プール 250 m ²
市民プール(第二)	外院1丁目2-3	昭和55.2.28	・25m×9m×1面 225 m ² ・幼児用プール 136 m ²

(2) 市立スポーツ施設の現状

各施設とも設置から長期間経過して老朽化が進んでおり、利用者からの改善要望にも対応しきれていないのが現状である。

施設改修や備品の更新については、毎年、体育連盟や指定管理者からの要望を受け、市において修繕の必要性を判断しているところであるが、すべての修繕にかかる予算を確保することは、今日の財政状況において非常に困難である。そのため、比較的緊急性の低いものについては、使用ができなくなってから、あるいは、危険な状態となってから初めて対応するなど、総じて対応が後手に回っており、特に備品や用具などは、その状況が顕著である。

(3) 利用料金の変遷

施設利用料については、開設以来大きな料金改定なく今日まで至っている。また、値上げされたのは、平成8年4月にスカイアリーナが新設された際と、平成26年4月に消費税増税分による料金改定があったのみである。

【利用料金改定履歴】

施設名	S56年4月	S57年1月	H8年4月	H12年4月	H26年4月
体育館	1,200円	1,200円	1,200円	1,500円	1,540円
武道館	—	600円	600円	600円	620円
野球場	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,030円
グラウンド	500円	500円	500円	500円	510円
テニスコート	400円	400円	500円	500円	510円
会議室	500円	500円	500円	600円	620円
トレーニングルーム	100円 (3時間)	100円 (3時間)	200円 (3時間)	200円 (1回)	210円 (1回)

※上記料金は、平日に各施設を1コマ(2・3時間)利用する場合の金額

(4) 近隣類似施設の利用料金との比較

上記の施設利用料を客観的に評価するため、近隣市における類似施設の利用料金と比較する。

なお、近隣類似施設の料金は、比較のため、本市と同じ時間数に換算している。

【近隣類似施設の利用料金との比較】

施設名	現行料金	近隣類似施設の料金	
体育館	1,540円 (770円)	3,900円 池田市五月山体育館	2,900円 吹田市北千里体育館
武道館	620円 (310円)	1,800円 豊中市武道館ひびき	1,350円 吹田市洗心館
野球場	1,030円 (515円)	12,000円 豊中市ローズ球場	2,000円 豊中市大門公園野球場
グラウンド	510円 (255円)	3,000円～3,500円 吹田市総合運動場	1,000円 池田市猪名川運動場
テニスコート	510円 (255円)	1,800円 豊中市豊島公園庭球場	1,600円 池田市夫婦池公園コート
会議室	620円 (310円)	900円 豊中市武道館ひびき	600円 池田市総合スポーツセンター
トレーニングルーム	210円	400円 豊中市千里体育館	100円/h 吹田市北千里体育館

※吹田市総合運動場グラウンドの料金は、時間帯によって単価が異なる。

上表のとおり、本市の施設利用料は、長年据え置かれてきたことにより、近隣類似施設に比べて低く、大きな乖離が見られる。

3 市立スポーツ施設の課題と対応

2（2）に述べた現状を改善するためには、危険な状態になってから修繕する、あるいは使えなくなってから更新するという考え方を転換し、常に快適な状況を維持していくこと、また、その時々の方の担当者の考え方に左右されないよう、あらかじめ更新のサイクルを明確にすることが必要である。

また、施設等の更新にかかる財源の確保が必要であることから、長年据え置いてきた、他市に比較しても低廉な利用料金の改定を検討する必要がある。

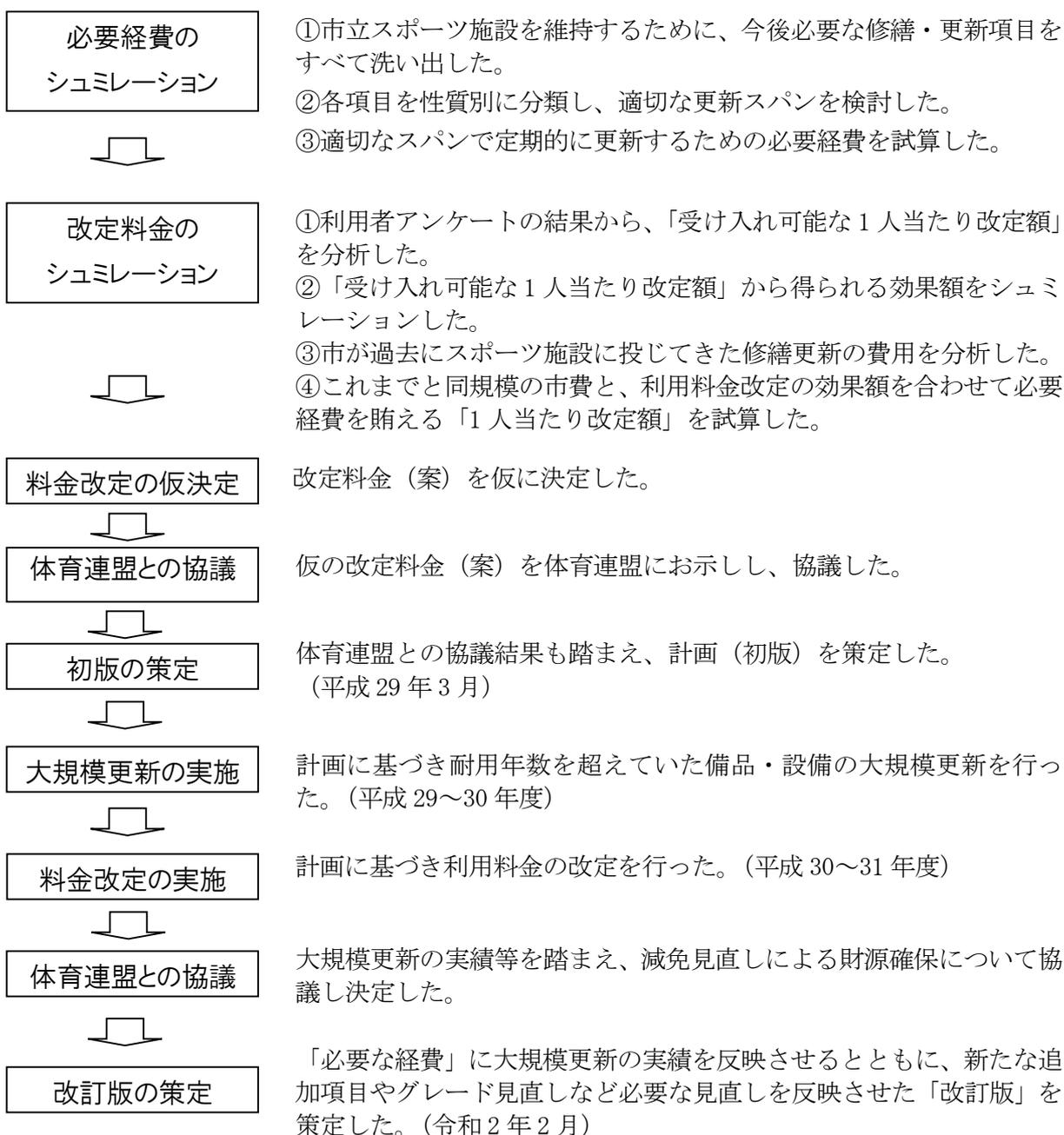
4 計画の概要

(1) 計画の考え方

- ・スポーツ施設の再生に向け、これまでの対症療法的な対応ではなく、定期的な修繕・更新のサイクルをつくる。
- ・利用料金の改定により、快適なコンディション維持に必要な財源を確保する。
- ・施設利用者に対し、本計画に基づいた修繕・更新を明示し、施設を常に快適・安全なコンディションに保つ。

(2) 検討の流れ

計画の策定に向けて、次のような流れで検討を進めた。



5 必要経費の算出

(1) 修繕・更新項目の洗い出しと各項目を性質別に分類

スポーツ施設を快適かつ安全に維持管理していくため、必要な修繕・更新項目をすべて洗い出した（利用者からの要望が多い約40項目を含む）。

また、これらを「A群：プレイヤーの快適性に直接影響する設備・備品」「B群：安全・衛生を維持する設備」「C群：施設の基本性能に関する設備」の3分類に整理した。

一例として武道館における修繕・更新項目の分類を以下に示す。

(例) 武道館で修繕や更新が必要な設備・備品等

整備項目	耐用年数	性質に応じて分類	A群 プレイヤーの快適性に直接影響する設備・備品	
整備項目	耐用年数		整備項目	耐用年数
競技用マット取替【数量100】	6年		競技用マット取替【数量100】	6年
館内 ウォータークーラー取替	7年		館内 ウォータークーラー取替	7年
武道館 消防設備修繕	8年		ワイヤレス放送機器更新	10年
ワイヤレス放送機器更新	10年		第1道場 床面改修工事（研磨・ウレタン塗り）	15年
第1道場 床面改修工事（研磨・ウレタン塗り）	15年		第2道場 床面畳取替	15年
第2道場 床面畳取替	15年		第1・2道場 照明設備取替	15年
第1・2道場 照明設備取替	15年		更衣室 冷暖房機器新設	15年
更衣室 冷暖房機器新設	15年		和室 畳張替（6畳×2室・8畳×2室）	15年
和室 畳張替（6畳×2室・8畳×2室）	15年		館内 備品取替	15年
館内 備品取替	15年		館内 建具張替	15年
館内 建具張替	15年		館内 トイレ取替	20年
武道館 屋根・外壁修繕	15年		館内 女子シャワー室増設	20年
第1・2道場 冷暖房設備新設	15年		館内 多目的トイレ改修	20年
武道館 雨桶修繕	15年		武道館 雨漏り修繕	20年
武道館 駐車場門扉修繕	15年		武道館 上水道管漏水修繕	20年
館内トイレ取替	20年		武道館 屋根修繕	20年
館内 女子シャワー室増設	20年		武道館 自動火災報知及び非常放送設備改修工事	20年
館内 多目的トイレ改修	20年		武道館 消防設備修繕	20年
武道館 雨漏り修繕	20年			
武道館 上水道管漏水修繕	20年			
武道館 屋根修繕	20年			
武道館 自動火災報知及び非常放送設備改修工事	20年			
武道館 消防設備修繕	20年			
武道館 消火用貯水槽フット弁修繕	20年			

※全施設の整備項目と分類は、添付の「修繕・更新項目一覧」をごらんください。

A群は、施設であればトイレやシャワー室など、備品であればマットや畳などを分類している。

B群は、安全に関わる設備として消防設備などのほか、浄水設備など衛生保持のための設備や、屋外施設のフェンスなど基礎の腐食により事故などを誘発する危険性のあるものを分類している。

C群は、冷暖房設備の更新や屋根・外壁のメンテナンスなど、建物そのもの、または建物に直接的に付随する設備を分類している。

(2) 分類した性質ごとの適切な修繕・更新スパン

次に、それぞれの分類に対し、適切な修繕・更新スパンを検討した。

A群は、利用者の快適性、使用感に直結すること、また、スポーツ施設として質の高いプレーができる素地を整えるものであることから、常に良好な状態に保つ必要があるため、メーカー標準の耐用年数で修繕・更新することが適切である。

B群は、利用者の安全と衛生を確保するため、確実に機能を保持する必要があることから、これもまた、メーカー標準の耐用年数で修繕・更新することが適切である。

C群は、市がスポーツ施設のみならず、他の施設も含む過去の経験と実績に照らすと、メーカー標準の2倍程度の使用が可能な場合が多いことから、メーカー標準の耐用年数の2倍を限度に修繕・更新することとした。ただし、それまでに故障や不具合が生じた場合は、当然のことながらすぐに対応するものである。

結果を次表にまとめる。

【適切な更新スパン】

分類	性質	代表的な設備の例	適切な更新スパン
A群	プレイヤーの快適性に直接影響する設備・備品	ネット・マット類、床面修繕、トイレ・シャワーなどのメンテナンス、人工芝張替など	利用者の快適性、使用感に直接影響するため、常に良好な状態を保つ必要がある。 →メーカー標準の耐用年数で更新
B群	安全・衛生を維持する設備	消防設備、浄水設備、フェンス修繕など	利用者の安全や衛生を確保するため、確実に機能を保持する必要がある。 →メーカー標準の耐用年数で更新
C群	施設の基本性能に関する設備	空調設備、非常用発電装置など	過去の実績に鑑みると、メーカー標準耐用年数の2倍程度の使用が可能な場合が多い →メーカー標準年数の2倍を限度に更新 (それまでに故障した場合は即対応)

(3) 必要な経費の算出

前項で設定した適切な修繕・更新スパンをもとに、必要な経費を算出した。

算出方法は、すべての修繕・更新項目について、1回更新するのに必要な経費を適切な修繕・更新スパンで対応した場合に必要な経費を年割額に換算した。

(例：3年で更新する備品の、1回当たりの更新経費を3で割ると、その備品を更新するために必要な1年あたりの金額となる)。

それらを合計した金額が、すべての設備・備品について、適切な修繕・更新スパンで対応するために必要な年間経費である。

①初版策定時における必要経費（平成29年3月）

積算の結果、必要な経費は42,949千円/年となった。これに、市がスポーツ施設の日常的な維持管理のために支出している年間3,500千円をあわせた必要経費は、合計で約46,500千円/年となる。

A群		
標準耐用年数	1回更新の経費 (円)	年割額 (円)
1年	480,000	480,000
3年	4,018,800	1,339,600
5年	56,826,900	11,365,380
6年	1,197,000	199,500
7年	39,158,600	5,594,086
8年	1,336,500	167,063
10年	34,265,700	3,426,570
12年	0	0
15年	31,098,600	2,073,240
20年	24,201,000	1,210,050
合計	192,583,100	25,855,489

B群		
標準耐用年数	1回更新の経費 (円)	年割額 (円)
5年	5,762,700	1,152,540
8年	4,763,426	595,428
10年	2,252,145	225,215
15年	13,233,300	882,220
20年	78,171,625	3,908,581
30年	0	0
合計	104,183,196	6,763,984

C群		
標準耐用年数	1回更新の経費 (円)	年割額 (円)
10年	5,870,850	293,543
15年	241,589,825	8,052,994
20年	79,293,751	1,982,344
合計	326,754,426	10,328,881

更新に必要な経費 42,949千円/年
+
日常的な維持経費 3,500千円/年
▼
必要経費(年額) 約46,500千円/年

②改訂版策定時における必要経費（令和2年2月）

平成29年～30年度の備品・設備の大規模更新の実績の反映として、修繕・更新にかかる必要な経費を、決算額に置き換えるとともに、耐用年数の異なるパーツに分類整理できる備品は「分解」、付帯する備品として更新が必要なものや新たに継続して更新していくことが必要となるものは「追加」、快適性や今後の利用見直し等の観点からの「グレード（性能等）の見直し」等の再整理も実施した。

なお、スカイアリーナのエレベータ施設の取替は、平成30年度に市の施設全体におけるエレベータ改修の対応方針のなかで統一的な対処とすることとしたため、改訂版においては本計画から除外している。

再整理した一例を以下に示す。

整理区分	初版での 取り扱い	改訂版での 取り扱い		対象施設	備考
分解	館内トイレ 取替 A20年	温水洗浄便座 取替	A10年	スカイ・第 2体育館・ 武道館	
		ブース取替	A20年		
		床面修繕	A10年		
追加	バレーネット A3年	バレーネット	A3年	スカイ・第 2体育館	
		バレーアンテナ	A3年		
	バレー支柱 A5年	バレー支柱	A5年		
		バレー支柱 カバー	A5年		
グレード 見直し	バレー審判台 A7年(7台 630万円)	バレー審判台 A7年(5台 1,992千円)	セノー製 DL0520 審判台	スカイ・第 2体育館	国際バレーボ ール連盟認 定品を購入
	卓球台 A7年 (80台 7,999 千円)	卓球台 A7年 (80台 16,070 千円)	三英製 MR-W25レ ジュブルー		オリンピックモ デルを購入
	バスケットゴール A10年 2対 3,675千円	バスケットゴール 6,766千円			第2体育 館

※全施設の整備項目と分類は、添付の「修繕・更新項目一覧」をご覧ください。

大規模更新反映後の更新経費及び年割額

A群		
標準耐用年数	1回更新の経費 (円)	年割額 (円)
1年	486,000	486,000
3年	4,644,402	1,548,134
5年	20,435,616	4,087,123
6年	1,585,656	264,276
7年	65,671,480	9,381,640
8年	1,336,500	167,063
10年	41,093,785	4,109,379
12年	11,460,960	955,080
15年	38,394,716	2,559,648
20年	47,130,722	2,356,536
30年	6,350,000	211,667
合計	238,589,837	26,126,546

B群		
標準耐用年数	1回更新の経費 (円)	年割額 (円)
5年	2,689,200	537,840
8年	4,762,826	595,353
10年	116,640	11,664
15年	20,397,000	1,359,800
20年	65,836,241	3,291,812
30年	2,359,200	78,640
合計	96,161,107	5,875,109

C群		
標準耐用年数	1回更新の経費 (円)	年割額 (円)
10年	8,752,216	437,611
15年	250,870,298	8,362,343
20年	47,969,300	1,199,233
合計	307,591,814	9,999,187

更新に必要な経費 42,001千円/年
+
日常的な維持経費 3,500千円/年
▼
必要経費(年額) 約 45,500千円/年

これら大規模更新の実績をあてはめた必要な経費は42,001千円/年となる。これに、市がスポーツ施設の日常的な維持管理のために支出している年間3,500千円をあわせた必要経費は、合計で約45,500千円/年となり、初版策定時との比較では、年額約1,000千円の減額となる。

(4) 体育館照明LED化による必要経費とその財源措置について

市では、本計画とは別に、平成30年度及び平成31年度の2カ年にわたりスカイアリーナ及び第2総合運動場の体育館照明のメタルハライドからLEDへの改修を行った。LED化の改修経費はスカイアリーナ及び第2総合運動場をあわせて合計67,567千円となった。なお、LED化による電気料金の削減効果額は約4,150千円/年となり、イニシャルコスト（改修費）は電気料金の削減効果額を充当していくことで、約16年後にイニシャルコスト分が回収できる計算となる。

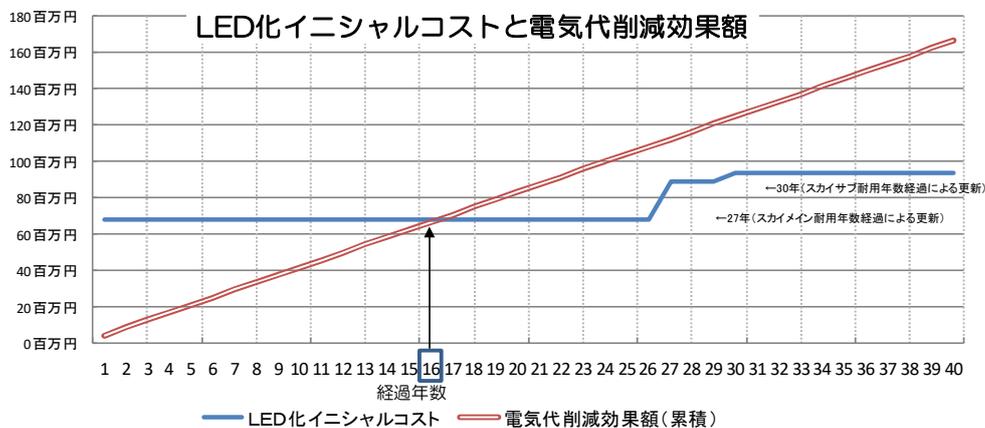
なお、今回導入したLEDの寿命（耐用年数）は約60,000時間となっており、照明の使用実績時間で割り戻すと、スカイアリーナでは27年後、第2総合運動場は30年後に取替が必要となるが、寿命による取替費用（取替時に必要となる経費はLEDランプの取替費用のみ）を加味しても電気料金の削減効果額で採算ラインを超えている。（下グラフ）

なお、これら電気料金の削減効果額は、指定管理料の積算から減額するため、本計画から切り離すものとする。

体育館照明LED化によるイニシャルコストと電気料金の削減効果額 (千円)

区 分		LED 化工事		電気料金の削減効果額(年額)		
		実施年度	イニシャルコスト	メタル (a)	LED (b)	削減額(b-a)
スカイ	メイン	H30	28,102	2,083	446	△1,637
	サブ		5,915	724	114	△610
第2 総合	大体育室	R1	28,435	1,791	173	△1,618
	小体育室		5,115	339	53	△286
合 計			67,567	4,937	786	△4,151

・LED化イニシャルコスト(約67,600千円)は、電気代削減効果額(約4,150千円/年)でもって約16年で採算が取れる。



6 改定料金の仮決定

前項で算出した年間 45,500 千円の財源を確保するため、利用者にも一定の負担をいただくことを前提に、長年据え置かれてきた結果、近隣類似施設との大きな乖離を生じている施設利用料の改定を検討した。

初版策定の検討にあたっては、利用者にある程度の納得感を以て受け入れられる程度の金額設定をめざし、まずは各施設利用者に対し、「受け入れ可能な一人当たり値上げ額」をお尋ねするアンケート調査を実施した。

アンケートは、施設ごとに実利用人数（「のべ」ではなく、実際にその施設を利用しているユニーク数）の2割以上のかた（重複なし）に対して行い、総数 1,353 人の利用者にご協力をいただいた。

（1）アンケート調査の概要

- ①実施期間 平成28年9月16日（金）～11月10日（木）の期間に断続的に実施
- ②実施体制 市保健スポーツ課及び指定管理者（ミズノグループ）職員
- ③調査場所 第一総合運動場、スカイアリーナ及び第二総合運動場（体育館・武道館・会議室・野球場・テニスコート・グラウンド・トレーニングルーム）
- ④調査方法 各施設の利用者を対象に、出口調査スタイルで聞き取り実施
- ⑤調査内容 以下のとおり

設 問	選 択 肢
対象者の年齢区分	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
利用施設	体育館・武道館・会議室・野球場・テニスコート・グラウンド・トレーニングルーム
利用施設の改修の必要性	改修が必要・今のままで良い・どちらでも良い
今後の施設改修に伴い料金を改定する場合、受け入れ可能な1人あたり改定額	10円～30円・40円～60円・70円～90円・100円以上(円)・据え置き

（2）アンケート調査結果

①各施設の利用者に占める聞き取りした人数

前述の、アンケートにご協力いただいた利用者 1,353 人の内訳は、次表のとおりである。

【聞き取り人数と聞き取り率】

	体育館	武道館	会議室	野球場	テニスコート	グラウンド	トレーニングルーム	合計
利用者数(人)	2,345	712	270	391	1,989	355	不明	6,062
第一総合運動場	—	712	61	391	406	—	—	1,570
スカイアリーナ	1,145	—	72	—	—	—	不明	1,217
第二総合運動場	1,200	—	137	—	1,583	355	不明	3,275
聞き取り調査数(人)	474	161	74	82	408	72	82	1,353
聞き取り率(%)	20.21	22.61	27.41	20.97	20.51	20.28	不明	22.32

- *「利用者数」は、「延べ」ではなく、指定管理者が管理している利用実績データから抽出した実利用人数(ユニーク数)を使用した。(同一団体(個人)が複数回利用している場合は、1回のみ利用者数の平均値をカウントして算出)
- *「聞き取り率」は、聞き取り調査件数(人)／利用者数(人)で算出
- *トレーニングルームは、延べ利用者数は把握しているが、登録者であれば自由に利用でき、実利用人数の算定が困難なため「不明」としたが、1日平均137人の利用があることから、これを利用者数に当てはめた場合、聞き取り率は59.85%となる

②アンケート結果

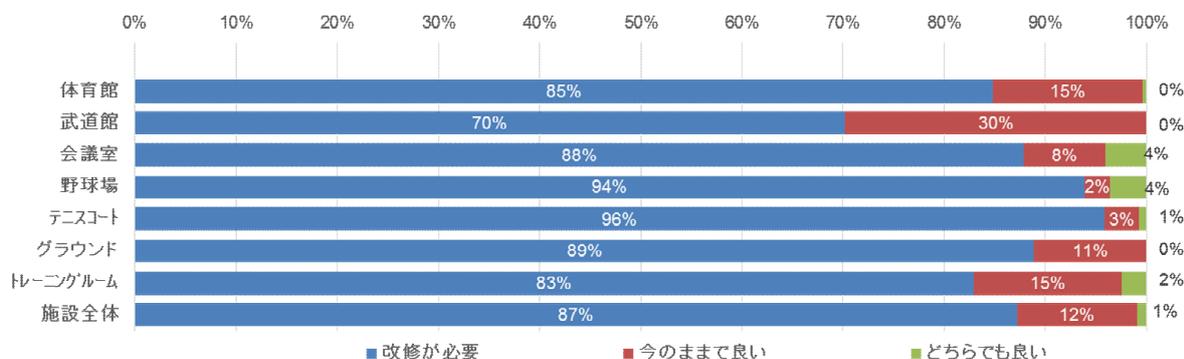
アンケートでは、回答者の9割が「改修が必要」と答え、受け入れ可能な1人あたり改定額帯は、施設によって多少のバラつきがあるものの、比較的高い数値を選んだかたが多い結果となった。

この結果からは、「利用料が多少高くなってもいいから、改修してほしい」というのが利用者の声であると受け止めることができる。

【施設改修の必要性】

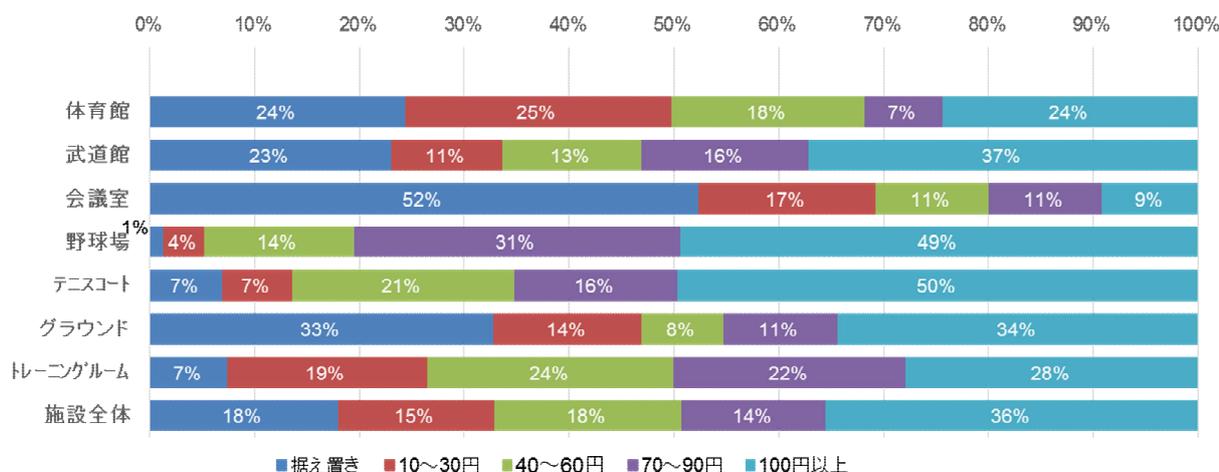
(単位:人)

区分	体育館	武道館	会議室	野球場	テニスコート	グラウンド	トレーニングルーム	施設全体
改修が必要	402	113	65	77	391	64	68	1,180
今のままで良い	70	48	6	2	14	8	12	160
どちらでも良い	2	0	3	3	3	0	2	13
合計	474	161	74	82	408	72	82	1,353



【受け入れ可能な1人あたり改定額帯】

区分	体育館	武道館	会議室	野球場	テニスコート	グラウンド	トレーニングルーム	施設全体
据え置き	98	26	34	1	27	21	5	212
10～30円	102	12	11	3	26	9	13	176
40～60円	74	15	7	11	83	5	16	211
70～90円	30	18	7	24	61	7	15	162
100円以上	98	42	6	38	194	22	19	419
合計	402	113	65	77	391	64	68	1,180



(3) 効果額の算定

次に、アンケート結果から得られた「受け入れ可能な1人あたり改定額」のデータを分析し、改定料金による効果額を試算した。

①低位値・中位値・高位値の設定

10円から90円までの回答は、30円刻みの「改定額帯」で選択されているため、そのレンジの中で、

- ・最も低い金額（10円～30円帯なら10円）を「低位値」
- ・真ん中の金額（10円～30円帯なら20円）を「中位値」
- ・最も高い金額（10円～30円帯なら30円）を「高位値」とした。

この値は、例えば低位値であれば、「受け入れ可能な値上げ額は10～30円」と回答した方すべてが「受け入れ可能な値上げ額は10円」だと思っておられると仮定するもので、回答者の中には、「20円でもいい」「30円でもいい」と思っただけで回答した方もおられることから、低位値を採用すれば、回答の全体傾向よりも低めの値段設定となり、高位値を採用すれば高めの値段設定となるものであ

る。

なお、「100 円以上」と回答した方には具体的な金額を尋ねているので、その生データを使用している。

【低位値・中位値・高位値の設定】

改定額帯	低位値	中位値	高位値
据え置き	0円	0円	0円
10～30 円	10 円	20 円	30 円
40～60 円	40 円	50 円	60 円
70～90 円	70 円	80 円	90 円
100 円以上	アンケート結果の生データを使用		

②受け入れ可能な1人あたり改定額（回答の平均値）

次に、低位値、中位値及び高位値のそれぞれについて、回答の平均値を算出した。

下表は、単純に平均値を算出しているため1円単位となっているが、実際に利用料を算定する場合は10円単位で考えるため、次項以降の算定においては、下表の数値の1円単位を切り捨てて使用している。（切り捨てることにより、さらに低めの値段設定となる。）

【低位値・中位値・高位値の平均値】

区分	体育館	武道館	会議室	野球場	テニスコート	グラウンド	トレーニング ルーム
低位値	57 円	61 円	26 円	129 円	142 円	56 円	85 円
中位値	62 円	65 円	30 円	134 円	147 円	59 円	92 円
高位値	67 円	69 円	34 円	139 円	151 円	62 円	98 円
平均利用人数	20 人	18 人	26 人	39 人	7 人	14 人	1 人

※平均利用人数は、過去の実績の平均値

※次項以降の試算にあたっては、1円単位を切り捨て

③料金改定による効果額（年間）

前項で算出した「受け入れ可能な1人あたり改定額」に、各施設における平均利用人数を乗じて、施設単位の改定額（仮の額）を算出し、この額に改定することによって得られる財政効果額（年間）を試算した。

【料金改定による効果額】

施 設	料金改定による効果額(年間)		
	低位値	中位値	高位値
体育館	3,376 千円	4,052 千円	4,052 千円
武道館	2,151 千円	2,151 千円	2,151 千円
会議室	168 千円	253 千円	253 千円
野球場	1,448 千円	1,568 千円	1,568 千円
テニスコート	10,696 千円	10,696 千円	11,460 千円
グラウンド	1,478 千円	1,478 千円	1,774 千円
トレーニングルーム	3,575 千円	4,022 千円	4,022 千円
合計効果額(年間)	22,892 千円	24,220 千円	25,280 千円
必要経費 45,501 千円/年 対して不足する額	22,609 千円	21,281 千円	20,221 千円

「受け入れ可能な1人あたり改定額」について低位値を採用した場合は22,892千円/年、高位値を採用した場合は25,280千円/年の効果額となる。

(4) 市投入額の試算

次に、市が市立スポーツ施設の修繕・更新に投じてきた費用を算出した。

過去10年間の実績を分析した結果、臨時的な修繕・更新に対し、一般財源ベースで年間約20,000千円を支出している。また、日常的な維持管理経費として3,500千円/年を毎年度支出していることから、過去の市費投入の実績額としては、23,500千円/年となる。

【市費投入実績】

年 度	一般財源投入額
平成 18 年度	47,469,245
平成 19 年度	9,642,155
平成 20 年度	13,886,643
平成 21 年度	8,212,449
平成 22 年度	1,463,500
平成 23 年度	8,435,385
平成 24 年度	4,648,512
平成 25 年度	8,086,048
平成 26 年度	90,959,199
平成 27 年度	6,738,752
平 均	19,954,189

+

日常的な維持管理経費 3,500 千円/年

↓

過去に市費を投じてきた
実績額 23,500 千円/年

この数値と、前項の必要経費に対する効果額の不足を比較すると、市がこれまでと同規模の金額を投入すれば、もっとも値上げ幅が低い「低位値」を採用しても、必要経費 45,501 千円を賄うことができることが導き出された。

施設	料金改定による効果額(年間)		
	低位値	中位値	高位値
合計効果額(年間)	22,892 千円	24,220 千円	25,280 千円
必要経費 45,501 千円/年に対して不足する額	22,609 千円	21,281 千円	20,221 千円

過去に市費を投じてきた実績額
23,500 千円/年

これまでと同規模の市費を投入すれば、「低位値」の料金設定であってもカバーが可能

(5) 1人あたり改定額

前項の試算から、アンケート結果から導き出した「低位値」の平均値を1人あたり改定額として採用することとした。

【採用した1人あたり改定額】

施設名	1人あたり改定額
体育館	50 円
武道館	60 円
野球場	120 円
グラウンド	50 円
テニスコート	140 円
会議室	20 円
トレーニングルーム	80 円

(6) 改定料金(案)の仮決定

前項の「1人あたりの改定額」から、実際の利用料金の改定額(案)を算出した。

なお、この改定料金(案)は、この時点で「仮」のものであり、この案を体育

連盟に提示し、協議を行うこととしたものである。

【仮の改定料金(案)】

施設名	現行料金 (平日1コマ) ①	1人あたり 改定額 ②	1コマの 平均利用人数 ③	仮の改定料金(案) (平日1コマ) ①+(②×③)
体育館	1,540 円	50 円	20 人	2,540 円
武道館	620 円	60 円	18 人	1,700 円
野球場	1,030 円	120 円	26 人	4,150 円
グラウンド	510 円	50 円	39 人	2,460 円
テニスコート	510 円	140 円	7 人	1,490 円
会議室	620 円	20 円	14 人	900 円
トレーニングルーム	210 円	80 円	1 人	290 円

※現行料金は、平日に各施設を1コマ(2・3時間)利用する場合の金額(以下同じ)

※平均利用人数は、過去の実績の平均値

7 体育連盟との協議結果

前項（6）で算出した「仮の改定料金（案）」をたたき台として、体育連盟と数回にわたり施設利用料金の改定について協議し、平成29年3月に次の内容で体育連盟と合意した。

（1）利用料金の見直し

①改定料金

協議の結果、改定額については、「近隣類似施設の利用料金を超えない範囲とする」こととし、武道館、野球場、グラウンドの料金改定額を変更して次表のとおりとする。

【合意した改定料金】

施設名	仮の改定料金(案)	合意した改定料金額	体育連盟が使用する場合の利用料金(※)
体育館	2,540 円	2,540 円	1,270 円
武道館	1,700 円	(変更) 1,240 円	620 円
野球場	4,150 円	(変更) 2,060 円	1,030 円
グラウンド	2,460 円	(変更) 1,020 円	510 円
テニスコート	1,490 円	1,490 円	745 円
会議室	900 円	900 円	450 円
トレーニングルーム	290 円	290 円	(減免なし)

※体育連盟が使用する場合の利用料金は、社会教育団体に対する減免制度で、利用料金の5割を減免しているもの。

ただし、この変更により、料金改定により得られる効果額は約 20,000 千円となり、仮の料金改定（案）により得られる効果額 22,892 千円/年より▲3,000 千円/年となる。

②体育連盟の減免制度の見直し

初版策定時において、改定料金の変更により減じた効果額（▲3,000 千円/年）は、体育連盟の減免制度の見直しにより対応することとしていた。

その後、平成29～30年度の備品・設備の大規模更新の実績を反映した場

合、必要な経費は45,500千円/年となった。(前掲5(3) 必要な経費の算出)
 必要な経費45,500千円に、料金改定による効果額20,000千円を充当しても不足する額25,500千円に対して、市はこれまでの実績額23,500千円を投入する。その結果、不足する額は2,000千円/年となり、体育連盟と再協議の結果、減免制度の見直しによる財源充当については、当該相当額の効果を得られる「照明利用料金の減免措置の廃止」で令和2年2月に合意した。

③実施時期

料金改定及び体育連盟の減免制度見直しの実施については、次のとおり段階的に実施する。

平成30年4月	料金改定① 改定額の1/2
平成31年4月	料金改定② 改定額の残り1/2 (料金改定完了)
令和2年4月	体育連盟の減免制度の見直し (照明利用料金の減免措置の廃止)

(2) 更新年度の判断

修繕・更新については、本計画に示している更新サイクルを基本とし、実際の修繕・更新の実施にあたっては、更新予定年度の前年に、対象の損傷具合を体育連盟が確認したうえで、計画どおりに更新するか、1年延長するかを体育連盟が判断し決定する。なお、次年度以降についても同様とする。

市は、体育連盟から延長の申し出がない限り、本計画に基づき修繕・更新を実施する。

(3) 確認書の取り交わし

上記の合意事項については、お互いが誠意を持って実行していくため、市と体育連盟が確認書を取り交わす。

8 改定料金と改定時期の決定

体育連盟との協議結果を反映し、改定料金と改定時期を下記のとおり決定した。

※表中（ ）内金額は、体育連盟が使用する場合の料金（5割減免）

【改定料金表(段階的实施)】

施設名	現行料金	平成 30 年 4 月 改定	平成 31 年 4 月 改定	近隣類似施設の料金	
体育館	1,540 円 (770 円)	2,040 円 (1,020 円)	2,540 円 (1,270 円)	3,900 円 池田市 五月山体育館	2,900 円 吹田市 北千里体育館
武道館	620 円 (310 円)	930 円 (465 円)	1,240 円 (620 円)	1,800 円 豊中市 武道館ひびき	1,350 円 吹田市 洗心館
野球場	1,030 円 (515 円)	1,540 円 (770 円)	2,060 円 (1,030 円)	12,000 円 豊中市 ローズ球場	2,000 円 豊中市 大門公園野球場
グラウンド	510 円 (255 円)	760 円 (380 円)	1,020 円 (510 円)	3,000 円 ～3,500 円 吹田市 総合運動場	1,000 円 池田市 猪名川運動場
テニス コート	510 円 (255 円)	1,000 円 (500 円)	1,490 円 (745 円)	1,800 円 豊中市 豊島公園庭球場	1,600 円 池田市 夫婦池公園コ ート
会議室	620 円 (310 円)	760 円 (380 円)	900 円 (450 円)	900 円 豊中市 武道館ひびき	600 円 池田市 総合スポーツセン ター
トレーニング ルーム	210 円	250 円	290 円	400 円 豊中市 千里体育館	100 円/h 吹田市 北千里体育館

※近隣類似施設の料金は、利用単位が異なる場合は箕面市の利用単位に換算

9 これまでの取組みと今後のスケジュール

市では、本計画の検討・策定作業と並行して、すでに平成28年度にスポーツ施設の一部修繕・更新を実施してきた。また、本計画の策定時点において、すでにメーカー標準の耐用年数を超えている備品・設備については平成29～30年度の2カ年で大規模更新を行った。平成29年度実施分の197,198千円については、料金改定前であるため、全額市負担となる。平成30年度実施分の294,037千円（繰越明許費含）については、2段階のうち1度目の料金改定が行われるため、想定している効果額の2分の1、約1千万円を新たな財源として充当した。

料金改定に先立って、目に見える形で施設と備品を一斉に更新することにより、利用者に本計画の意義と効果を実感いただきながら、少しでも料金改定への理解が得られるよう、あわせて丁寧な説明をしてきた。

令和2年度以降については、「スポーツ施設マネジメント計画（改訂版）」に基づき、定期的な施設改修や設備・備品の更新を実施していく。

なお、修繕・更新については、本計画に示している更新サイクルを基本とし、実際の修繕・更新の実施にあたっては、更新予定年度の前年に、対象の損傷具合を体育連盟が確認したうえで、計画どおりに更新するか、1年延長するかを体育連盟が判断し決定する。なお、次年度以降についても同様とする。市は、体育連盟から延長の申し出がない限り、本計画に基づき修繕・更新を実施するものとする。

H28年度	一部修繕・更新(決算額 47,768 千円) ▶スポーツ施設マネジメント計画【初版】策定
H29年度	大規模修繕・更新①(決算額 197,198 千円)
H30年度	◎4月 料金改定①(改定額 1/2) 大規模修繕・更新②(決算額 294,037 千円繰越明許費含)
R元年度	◎4月 料金改定②(改定額の残り 1/2) ▶スポーツ施設マネジメント計画【改訂版】策定
R2年度	◎4月 減免制度の一部見直し(照明利用料金減免廃止)

10 おわりに

本計画は、箕面市がこれまで、市民の健康増進と体力づくりを推進するため、「利用者の立場に立った施設の管理運営」と、それを「将来にわたって維持していく仕組みづくり」について、体育連盟や一般の利用者の声を十分に聴きながら、施設の維持管理を抜本的に見直した結果をまとめたものである。

その一環として、長年低廉な料金のまま据え置かれてきた利用料金の改定にも正面から取り組み、多数の利用者からの協力も得て、適正な料金体系に整えることができたと考えている。

また、市と体育連盟との間で、施設の更新方法について確認書を取り交わし、利用者の目線と実際の使用感に即した修繕・更新を実現できることとなった。

本計画に則り、市立スポーツ施設を、子どもから高齢者まで幅広い世代の方が気軽にスポーツを楽しみ、健康増進及び体力づくりを力強く推進する拠点として再生することで、健康長寿のまちづくりの一環とするものである。

【卷末資料】

- ・ 修繕・更新項目一覽表

・修繕更新項目一覧表（改訂版）

* 分類別・耐用年数順

【A群】プレイヤーの快適性に直接影響する設備・備品

施設	修繕・更新項目	耐用年数	分類	更新経費(円)	年割額(円)
各施設	各施設トイレ・シャワー室のメンテナンス	1	A	345,000	345,000
野球場	塁・ホームベース 一式取替	1	A	63,000	63,000
会議室	武道館 第二 ダーツボード取替【数量 8→12】	1	A	78,000	78,000
体育館	スカイ 第二 卓球ネット取替【数量 80】	3	A	583,200	194,400
体育館	スカイ 第二 バレーネット(6人制用)取替【数量 7】	3	A	258,552	86,184
体育館	スカイ 第二 バレーアンテナ取替【数量 7】	3	A	59,724	19,908
体育館	スカイ 第二 バレーネット(9人制用)取替【数量 7】	3	A	193,158	64,386
体育館	スカイ 第二 バドミントンネット取替【数量 24】	3	A	165,888	55,296
体育館	スカイ 館内備品(スリッパ)取替【数量 400】	3	A	108,000	36,000
体育館	第二 館内備品(スリッパ)取替【数量 400】	3	A	108,000	36,000
武道館	館内備品(スリッパ)取替【数量 200】	3	A	108,000	36,000
グラウンド	第二 西側ネット部分樹木伐採	3	A	648,000	216,000
グラウンド	サッカーゴールネット取替【数量 3】(大人1対、子ども2対)	3	A	90,720	30,240
グラウンド	コーナーフラッグ金具【12個】	3	A	13,200	4,400
テニスコート	第一・第二 テニス支柱取替【数量 10】	3	A	1,080,000	360,000
テニスコート	テニスネット取替【数量 10】第一3枚、第二7枚	3	A	675,000	225,000
テニスコート	第二 防風ネット取替(一式40枚)	3	A	423,360	141,120
会議室	サラウンド	3	A	129,600	43,200
体育館	スカイ 第二 バレー支柱取替【数量 7】	5	A	2,415,420	483,084
体育館	スカイ 第二 バレー支柱カバー取替【数量 7】	5	A	963,900	192,780
体育館	スカイ 第二 バドミントン支柱取替【数量 24】	5	A	601,344	120,269
野球場	グラウンド 整備(真砂土・黒土100t・ニガリ100袋、ベース入替)	5	A	4,635,468	927,094
グラウンド	コーナーフラッグ・ポール【12本】	5	A	26,000	5,200
グラウンド	サッカーゴール取替 1対	5	A	327,024	65,405
グラウンド	小学生用サッカーゴール取替 1対	5	A	299,430	59,886
グラウンド	小学生用サッカーゴール取替 1対	5	A	299,430	59,886
グラウンド	グラウンド整備	5	A	861,840	172,368
会議室	フェルト張替	5	A	100,000	20,000
トレーニングルーム	スカイ トレーニングマシン取替 A(電気マシン)	7	A	8,447,220	1,206,746
トレーニングルーム	スカイ トレーニングマシン取替 A(筋トレマシン)	12	A	11,460,960	955,080
トレーニングルーム	スカイ トレーニングマシン取替 A(筋トレ備品)	15	A	2,059,020	137,268
トレーニングルーム	スカイ トレーニングマシン取替 A(ミラー)	20	A	1,312,200	65,610
トレーニングルーム	第二 トレーニングマシン取替 A(電気マシン)	7	A	12,229,920	1,747,131
トレーニングルーム	第二 トレーニングマシン取替 A(マット)	6	A	456,840	76,140
トレーニングルーム	スカイ トレーニングルーム管理システム取替	5	A	4,131,000	826,200
トレーニングルーム	第二 トレーニングルーム管理システム取替	5	A	4,131,000	826,200
プール	第一・第二 すのこ取替【数量 40】	5	A	1,643,760	328,752
武道館	競技用マット取替【数量 144】	6	A	902,016	150,336
会議室	武道館 マット取替【数量 100】	6	A	226,800	37,800
体育館	スカイ 第二 卓球台取替【数量 80】	7	A	16,070,400	2,295,771
体育館	スカイ 第二 バレー審判台取替【数量 7】	7	A	1,992,600	284,657
体育館	スカイ 第二 バレー得点板取替【数量 7】	7	A	340,200	48,600
体育館	スカイ 第二 バドミントン審判台取替【数量 24】	7	A	1,539,648	219,950
体育館	スカイ 第二 バスケットローラー(14秒計)取替【数量 4】	7	A	541,000	77,286
体育館	スカイ ウォータークーラー取替 3台	7	A	561,600	80,229
体育館	第二 ウォータークーラー取替 2台	7	A	421,200	60,171

武道館	館内 ウォータークーラー取替 1台	7	A	140,400	20,057
グラウンド	第二 ウォータークーラー取替 1台(取替費込)	7	A	140,400	20,057
テニスコート	第一 コート人工芝張替(3面)+コート周り人工芝張替	7	A	5,081,400	725,914
テニスコート	第二 コート人工芝張替(7面)	7	A	17,487,360	2,498,194
テニスコート	第一 壁打ちコート修繕	7	A	198,666	28,381
テニスコート	第二 壁打ちコート修繕	7	A	198,666	28,381
テニスコート	第一 第二ウォータークーラー取替 各1台	7	A	280,800	40,114
体育館	スカイ メイン床面部分張替(バスケットゴール下)	8	A	1,336,500	167,063
体育館	スカイ メインバスケットゴール(移動式)修繕 2対	10	A	1,668,600	166,860
体育館	スカイ サブバスケットゴール取替	10	A	3,059,100	305,910
体育館	スカイ 放送設備取替	10	A	6,372,000	637,200
体育館	第二大 バスケットゴール取替 2対	10	A	6,766,200	676,620
体育館	第二小 バスケットゴール取替 1対	10	A	3,059,100	305,910
体育館	第二大 室内倉庫等扉修繕	10	A	683,100	68,310
体育館	第二 体育館前時計取替	10	A	183,600	18,360
体育館	第二 ワイヤレス放送機器取替	10	A	404,100	40,410
体育館	第二 館内トイレ 温水洗浄便座取替	10	A	1,264,000	126,400
体育館	第二 館内トイレ 床面修繕	10	A	632,000	63,200
体育館	スカイ 館内トイレ 温水洗浄便座取替	10	A	3,523,000	352,300
体育館	第二 放送設備取替	10	A	3,736,800	373,680
武道館	ワイヤレス放送機器取替	10	A	404,100	40,410
武道館	館内トイレ 温水洗浄便座取替	10	A	574,000	57,400
武道館	館内トイレ 床面修繕	10	A	287,000	28,700
野球場	バックスクリーン修繕	10	A	603,000	60,300
野球場	グラウンドトラクター取替 1台	10	A	5,670,000	567,000
野球場	ベンチ取替【数量 8】	10	A	181,440	18,144
野球場	時計取替	10	A	180,000	18,000
テニスコート	第二 時計取替	10	A	135,000	13,500
テニスコート	第一 時計取替	10	A	174,420	17,442
テニスコート	第二 スピーカー取替 3台	10	A	128,520	12,852
テニスコート	第一 第二コートベンチ取替【数量 30】	10	A	680,400	68,040
テニスコート	第二 観覧席ベンチ取替	10	A	150,000	15,000
会議室	裏板張替	10	A	310,785	31,079
プール	第一 時計取替	10	A	131,760	13,176
プール	第二 時計取替	10	A	131,760	13,176
体育館	スカイ 館内備品取替(靴箱・ソファ等 一式)	15	A	2,592,000	172,800
体育館	第二 館内備品取替(靴箱・ソファ等 一式)	15	A	2,592,000	172,800
体育館	第二大 床面修繕(研磨・ウレタン塗り)	15	A	4,178,700	278,580
体育館	第二小 床面修繕(研磨・ウレタン塗り)	15	A	1,626,300	108,420
体育館	スカイ メイン床面修繕(研磨・ウレタン塗り)	15	A	6,785,856	452,390
体育館	スカイ サブ床面修繕(研磨・ウレタン塗り)	15	A	2,908,224	193,882
体育館	スカイ・第二 卓球用防球フェンス取替【数量 140⇒160】	15	A	1,382,400	92,160
体育館	防球フェンス搬送台	15	A	265,680	17,712
武道館	第2道場 床面修繕(研磨・ウレタン塗り)	15	A	3,209,868	213,991
武道館	第1道場 床面畳取替	15	A	5,863,968	390,931
武道館	和室 畳張替(6畳×2室・8畳×2室)	15	A	224,640	14,976
武道館	館内備品取替(靴箱・掲示板等 一式)	15	A	846,000	56,400
武道館	館内 建具張替	15	A	496,260	33,084
野球場	本部 空調機器取替 2台	15	A	253,800	16,920
グラウンド	第二 西側ネット修繕	15	A	3,110,000	207,333

体育館	第二 館内トイレ ブース取替	20	A	1,264,000	63,200
体育館	スカイ 館内トイレ ブース取替	20	A	1,762,000	88,100
体育館	第二 館内更衣室ロッカー取替【数量 15】	20	A	2,268,000	113,400
体育館	スカイ 館内多目的トイレ改修	20	A	4,126,500	206,325
体育館	第二 館内多目的トイレ改修	20	A	1,953,000	97,650
武道館	第1・2 道場 照明設備取替	20	A	3,294,000	164,700
武道館	館内トイレ ブース取替	20	A	574,000	28,700
武道館	館内 多目的トイレ改修	20	A	2,287,800	114,390
武道館	館内扉取替(3カ所)	20	A	5,041,800	252,090
野球場	屋外トイレ改修	20	A	1,474,200	73,710
グラウンド	第二 屋外トイレ内手洗い場の修繕	20	A	800,000	40,000
グラウンド	第二 グラウンド手洗い場修繕	20	A	324,000	16,200
グラウンド	移動式防球フェンス【数量 10】	20	A	604,800	30,240
テニスコート	第二 管理棟トイレ ブース取替	20	A	386,000	19,300
テニスコート	第二 屋外更衣室修繕	20	A	1,089,900	54,495
テニスコート	第二 屋外更衣室ロッカー取替【数量 4(1台:10人用)】	20	A	810,000	40,500
テニスコート	第一 屋外更衣室修繕	20	A	400,000	20,000
テニスコート	第一 屋外更衣室ロッカー取替【数量 4(1台:10人用)】	20	A	328,320	16,416
トレーニングルーム	スカイ トレーニングルーム扉修繕	20	A	174,960	8,748
プール	第一 施設内トイレ ブース取替	20	A	614,000	30,700
プール	第一 施設内多目的トイレ取替	20	A	4,700,282	235,014
プール	第一 扉修繕(多目的トイレ/多目的更衣室)	20	A	247,320	12,366
プール	第一 更衣室ロッカー取替【数量 70(1台:10人用)】	20	A	10,862,640	543,132
プール	第二 施設内トイレ ブース取替	20	A	431,000	21,550
グラウンド	第二 西側ネット支柱取替	30	A	6,350,000	211,667

【B群】 安全・衛生を維持する設備

施設	修繕・更新項目	耐用年数	分類	更新経費(円)	年割額(円)
プール	第一 プール濾材取替(3基)	5	B	1,890,000	378,000
プール	第二 プール濾材取替(1基)	5	B	799,200	159,840
体育館	第二 消防設備修繕	8	B	1,985,000	248,125
体育館	スカイ 消防設備修繕	8	B	1,883,826	235,478
武道館	武道館 消防設備修繕	8	B	894,000	111,750
体育館	スカイ 非常警報設備バッテリー取替	10	B	116,640	11,664
グラウンド	第二 東側フェンス修繕	15	B	1,950,000	130,000
テニスコート	第一 フェンス修繕 +支柱取替	15	B	9,667,000	644,467
テニスコート	第二 フェンス修繕 +支柱取替	15	B	5,966,000	397,733
プール	第一 プール濾過機取替	15	B	1,407,000	93,800
プール	第二 プール濾過機ポンプ取替	15	B	1,407,000	93,800
体育館	スカイ メイン天井修繕(塗装)	20	B	51,001,841	2,550,092
体育館	スカイ トレーニングルーム防水修繕(パッキン取替)	20	B	787,500	39,375
体育館	第二 屋上アスファルト防水工事	20	B	10,476,900	523,845
プール	第一 プール改修工事(屋根防水工事)	20	B	3,570,000	178,500
グラウンド	第二 東側フェンス支柱取替	30	B	2,359,200	78,640

【C群】 施設の基本性能に関する設備					
施設	修繕・更新項目	耐用年数	分類	更新経費(円)	年割額(円)
体育館	スカイ 駐車場天井雨水漏水修繕及び感知器取替	10	C	172,800	8,640
体育館	スカイ 館内誘導灯設備取替	10	C	149,580	7,479
体育館	スカイ 非常用照明及びバッテリー取替	10	C	627,894	31,395
体育館	スカイ 直流電源蓄電池取替(自家発)	10	C	1,551,267	77,563
体育館	スカイ 直流電源蓄電池取替	10	C	2,068,500	103,425
体育館	スカイ 雨水排水ポンプ及び消防設備修繕・工事	10	C	1,645,920	82,296
プール	第一 プール量水器取替	10	C	1,019,015	50,951
プール	第二 プール量水器取替	10	C	1,019,015	50,951
プール	第一 プール幼児用遊泳槽修繕(防水塗装)	10	C	498,225	24,911
体育館	スカイ メイン空調設備基盤・リモコン取替	15	C	172,800	5,760
体育館	スカイ メイン観客席ファンコイルインバータ取替	15	C	187,380	6,246
体育館	スカイ 防火シャッター修繕	15	C	152,820	5,094
体育館	第二 館内換気ファン修繕(体育室・トレーニングルーム)	15	C	124,200	4,140
体育館	第二 館内防火ダンパー取替(エントランス・事務所)	15	C	479,520	15,984
体育館	スカイ 中庭事務所側扉修繕	15	C	464,400	15,480
体育館	スカイ 事務所排煙窓修繕	15	C	114,480	3,816
体育館	スカイ メイン・サブ冷暖房ユニット取替	15	C	88,239,000	2,941,300
体育館	スカイ 受変電設備高圧機器取替	15	C	19,542,000	651,400
体育館	スカイ 冷却水及び雨水処理装置修繕	15	C	1,404,000	46,800
体育館	スカイ エントランス空調設備修繕	15	C	1,090,800	36,360
体育館	スカイ 受水槽バルブ取替	15	C	810,000	27,000
体育館	スカイ 渡り廊下屋根雨水漏水修繕及び照明器具取替	15	C	367,200	12,240
体育館	第二大・小 冷暖房設備取替	15	C	67,684,000	2,256,133
体育館	第二 受変電設備取替	15	C	16,040,000	534,667
体育館	スカイ エントランスホール雨水侵入修繕	15	C	150,000	5,000
体育館	スカイ 体育館・会議室漏水修繕	15	C	150,000	5,000
体育館	スカイ 東側駐車場排水管修繕	15	C	225,435	7,515
体育館	スカイ 自家発電設備修繕	15	C	2,835,000	94,500
体育館	スカイ 自動火災報知器設備修繕	15	C	741,300	24,710
体育館	スカイ 給水設備修繕	15	C	210,000	7,000
体育館	スカイ 給水ポンプユニット修繕	15	C	1,100,000	36,667
体育館	第二 衛生換気設備修繕	15	C	932,400	31,080
体育館	第二 給湯膨張タンク配管漏水修繕	15	C	396,900	13,230
体育館	第二 非常用発電装置修繕	15	C	1,732,500	57,750
体育館	第二 給水管漏水修繕	15	C	912,600	30,420
体育館	第二 更衣室給湯器取替修繕	15	C	178,200	5,940
体育館	武道館 更衣室給湯器取替修繕	15	C	250,000	8,333
武道館	第1、2道場 冷暖房設備取替	15	C	31,023,000	1,034,100
武道館	武道館 自動火災報知及び非常放送設備取替	15	C	2,700,000	90,000
武道館	武道館 消火用貯水槽フート弁修繕	15	C	166,320	5,544
武道館	更衣室 冷暖房機器取替	15	C	482,185	16,073
会議室	スカイ 空調機器取替 2台	15	C	896,400	29,880
会議室	第二 空調機器取替 2台	15	C	1,296,000	43,200
会議室	武道館 空調機器取替 2台	15	C	482,185	16,073
トレーニングルーム	スカイ 空調機器取替 2台	15	C	1,118,448	37,282
トレーニングルーム	第二 空調機器取替 2台	15	C	831,600	27,720
プール	第一 プール濾過器五方弁修繕	15	C	1,576,800	52,560

プール	第一 プール天窓取替	15	C	199,920	6,664
プール	第一 プール濾過機自動制御機能修繕	15	C	1,890,000	63,000
プール	第一 プール排水弁修繕	15	C	113,505	3,784
プール	第一 プール濾過器ポンプ取替修繕	15	C	1,407,000	46,900
体育館	スカイ 玄関風除室屋根雨水漏水修繕	20	C	151,200	3,780
体育館	スカイ 館内・屋外点字ブロック修繕	20	C	216,000	5,400
体育館	第二 館内正面玄関自動扉取替	20	C	496,800	12,420
体育館	スカイ 雨水再利用ポンプ等取替	20	C	2,446,500	61,163
体育館	スカイ エレベータ棟ブリッジ手すりパンチングメタル修繕	20	C	169,365	4,234
体育館	スカイ 敷地内アスファルト部分陥没修繕	20	C	63,000	1,575
体育館	スカイ 中庭修繕・雨水排水部分修繕	20	C	647,000	16,175
体育館	スカイ サブアリーナ外壁修繕	20	C	2,620,800	65,520
体育館	スカイ 東側駐車場手すり修繕	20	C	193,965	4,849
体育館	スカイ 雨水処理設備水質維持調節計修繕	20	C	464,100	11,603
体育館	スカイ 各施設雨水漏水修繕	20	C	4,301,115	107,528
体育館	スカイ 給湯器修繕	20	C	582,340	14,559
体育館	スカイ 自動ドア修繕	20	C	726,750	18,169
体育館	スカイ 中央屋根漏水修繕	20	C	641,067	16,027
体育館	スカイ 中庭土間修繕	20	C	164,000	4,100
体育館	スカイ 中央監視盤取替	20	C	5,827,500	145,688
体育館	スカイ 雨漏り修繕	20	C	4,301,115	107,528
体育館	スカイ トイレ水回り漏水修繕	20	C	390,075	9,752
体育館	スカイ 更衣室給湯器取替	20	C	226,800	5,670
体育館	スカイ サブ消火用水槽漏水修繕	20	C	323,400	8,085
体育館	スカイ メイン機械室分電盤取替	20	C	976,131	24,403
体育館	スカイ 吸水式冷温水機回収(1/2 台)	20	C	5,454,000	136,350
体育館	スカイ 避雷針取替修繕	20	C	729,432	18,236
体育館	スカイ 入口前タイル修繕	20	C	227,000	5,675
体育館	スカイ 旗掲揚バー修繕	20	C	162,000	4,050
体育館	第二 テニスコート側溝修繕	20	C	150,000	3,750
体育館	第二 西門出入口フェンス修繕	20	C	219,000	5,475
体育館	第二 屋根雨水漏水修繕	20	C	436,000	10,900
体育館	第二 大体育室・テニスコート管理棟防水修繕	20	C	496,860	12,422
体育館	第二 受変電設備他改修工事	20	C	9,871,200	246,780
武道館	武道館 屋根・外壁修繕	20	C	313,200	7,830
武道館	武道館 雨桶修繕	20	C	225,000	5,625
武道館	武道館 駐車場門扉修繕	20	C	163,000	4,075
武道館	武道館 雨水漏水修繕	20	C	469,560	11,739
武道館	武道館 上水道管漏水修繕	20	C	245,700	6,143
武道館	武道館 屋根修繕	20	C	496,260	12,407
プール	第二 プール西側フェンス基礎部分漏水修繕	20	C	135,000	3,375
プール	第一 プール機械室東面外壁修繕	20	C	283,500	7,088
プール	第二 プール管理棟屋上雨水漏水修繕	20	C	299,355	7,484
プール	第一 プール機械室北側土間修繕	20	C	467,000	11,675
プール	第一 プール倉庫入口門扉及びフェンス修繕	20	C	181,000	4,525
プール	第一 プール塩素注入器取替	20	C	136,500	3,413
プール	第一 プール緑地照明灯取替修繕	20	C	115,710	2,893
プール	第一 プール管理棟外壁剥離修繕	20	C	190,000	4,750
プール	第二 プール管理棟シャッター修繕	20	C	154,000	3,850
プール	第二 プール管理棟屋上防水・配電盤取替	20	C	420,000	10,500

A群 計				238,589,837	
B群 計				96,161,107	
C群 計				307,591,814	
合 計				642,342,758	42,000,841